

No	カテゴリ	筆者の提案するウォーカビリティ向上に資する項目（①）	参照指標（②）		項目の評価内容（③）	二子玉川の現状評価（④）		カテゴリ別の現状評価（⑤）
1		オープンスペースを設置する	WELL-Community	Community	延床面積が1000㎡以上の建築物にオープンスペースが設置されている	○	ガレリア、中央広場、原っぱ広場、菜園広場など多数のオープンスペースがある	
2		街路への開放性を高める			1階部分のテナントのうち、エントランスが開放されている、またはガラス張りである割合	△	街区内はガラス張りの店舗は多いものの、街区外と接する部分を解放していない店舗が多数存在	
3		カフェ・レストランなどによる屋外空間の利用			屋外空間を活用している店舗の割合	△	メインストリートに面する店舗の屋外活用割合	
4		ストリートファニチャーの設置(ベンチや腰掛の設置)			設置間隔が200m以内である	○	地区内に多数の腰掛が設置されている	
5		歩道の設置			歩行者の快適性に配慮した歩道の確保	○	街区内は歩行者天国、街区外との境界には歩道を設置	
6		歩道の幅員の確保			千代田区道路整備方針に従った歩道の確保	○	街区内は歩行者天国、街区外との境界には歩道を設置	
7		歩道における障害の除去			車道との段差：1cm以内(千葉市：歩行空間整備マニュアル)	○	交差点付近では道路との段差は明らかに整備	
8		歩行者と自動車の間の緩衝帯の設置			80cm以上の緩衝帯がある	○	歩道と道路との境界に植木を設置	
9		歩行者を考慮した横断歩道の設計			安全地帯があり、老人単独歩行速度（1.3m/s）（津波避難ビル等に係るガイドラインより引用）で十分に渡れる時間の信号が確保されている	○	歩行速度を考慮した信号システムを整備している	
10	ハード環境	光環境のデザイン	WELL-Community	Light	地区内の特定の地域において、次の要件を考慮した照明目標を示すガイドライン・計画を策定する ・歩行者、自転車、車両の衝突 ・セキュリティと防犯 ・光害と不法侵入 ・ランプ、照明の昼間の外観 ・建物外部や道路等の公共エリアの最小水平照度と最小垂直照度を定める ・照明のCCTやCRIを考慮した照明の色品質の選定	△	・アーケードはガラス張り ・街灯は整備されている ・ガイドライン・計画の策定は不明	61.1%
11		自転車通行空間の整備	WELL-Community	Movement	地区内の建物の75％が、計画された自転車ネットワークから400 m の距離内にあり、自転車ネットワークが4.8 km の距離内にある少なくとも10の多様な用途に接続される。	×	自転車ネットワークは存在しない	
12		自転車と自動車の分離	WELL-Community	Movement	①歩行者と車道利用者の分離 ②歩行者の視界確保 ③道路を走る車の車道の管理 これらの制限を明確に定める地区計画の策定	○	地区計画の策定有無は不明であったものの、①②③は満たしている	
13		公共ゴミ箱が整備されている			アクセスが可能な一人当たりのごみ箱容量	△	エリア内の公園である二子玉川公園はごみ箱を設置していない	
14		公衆トイレが整備されている			徒歩圏500m以内にあるか	○	通常トイレの他、非常用マンホールトイレ(60基)も整備している	
15		ゴミや水がたまると思われる場所がない			排水機能を有する道路の割合	△	道路の機能に関する情報は不明であった	
16		バリアフリー導線が整備されている			バリアフリー動線で各施設にアクセスができる	○	全ての公共エリアについて、バリアフリー動線でのアクセスが可能	
17		日陰が意図的に設けられている			地区内の歩行者が特に多い動線に日影を設けている	○	メインの動線で底を設置し、意図的に日影を設けている	
18		禁煙環境が整っている	WELL-Community	Air	プロジェクトオーナーが所有、運営、または管理しているすべての建物での喫煙および電子タバコの使用を禁止する。 戸建住宅や指定された喫煙エリアのある小売店、レストラン、バーはすべて、他の建物やテナントとは異なる換気システムとする。	△	喫煙エリアを指定しているものの、換気システムについては不明であった	
19	アクセシビリティ	公共交通のネットワークを充実する	LEED-City	TRANSPORTATION AND LAND USE	市/コミュニティの1人当たりの1日の走行マイル数(VMT: Vehicle Miles Travelled)を、人々の移動パターンの測定により計測し、Arcで評価する	△	現地調査・WEB調査からは評価が不可能であった	75.0%
20		公共交通へのアクセシビリティ	LEED-City	TRANSPORTATION AND LAND USE	地区内の住居用および非住居用建物の最低90％が800m以内に公共交通にアクセスできる	○	地区内の全建物が公共交通に容易にアクセスができた	
21		公共交通のパフォーマンス	LEED-City	TRANSPORTATION AND LAND USE	交通機関の停留所の運行本数は、平日72本以上、週末30本以上であること	○	東急田園都市線、東急大井町線により運行本数は充分であった	
22		大きい街区内に街路を設ける			動線と動線をつなげる歩道を設けている	○	地区内にリボンストリートを整備している	
23		利用者の多い施設のソフト面の接続性を高める			複合的な都市開発により、一度の来訪で複数施設の利用が期待できるか	○	地区内の各建物に様々な用途の施設整備が行われており、一度の来訪で複数施設の利用が期待できる	
24		利用者の多い施設の物理的な接続性を高める			車を気にすることなく隣接敷地内に移動できるか(歩行者天国orペDESTリアンデッキ)	×	隣接敷地内への移動には、横断歩道を渡る必要がある	
25		雨に濡れずに歩き回れること	WELL-Community	Movement	気候に応じた歩行空間が確保されている	○	ガレリアにおけるアーケードの設置、建物の内部空間の活用により、雨天を気にすることなく駅から各所にアクセスが可能	
26		オープンスペース・公園へのアクセスを高める			地区内の住居用および非住居用建物の最低90％が800m以内にオープンスペース・公園にアクセスできる	○	街区内に多数の広場、公園を整備	
27	アクティビティ	ヒューマンスケールの歩行空間ネットワークをつくる	WELL-Community	Movement	①通りから建物内の様子を見ることができる ②駐車場の入り口が接道部分の20％以下であること	×	各建物の外からは内部の様子が見えない	83.3%
28		歩行空間ネットワークに階段を組み込む			指定施設(商業・業務等)において、昇降動線に工夫が見られるか	○	多摩川の河岸段丘や等々力渓谷をイメージした起伏のある動線を整備	
29		わくわくする風景・シーケンスをつくる(小道、歩道などの整備)	WELL-Community	Community	良好な風景・シーケンスを維持するための指定・管理を行う	○	二子玉川ライズの屋上に庭園を設けている	
30		利用者の多い施設には近隣に運動施設や散策路を設ける	WELL-Community	Movement	運動ができる都市施設が徒歩圏内(800m)にあり無料で利用できる	○	世田谷区立二子玉川公園(100m)、二子玉川緑地運動場(500m)を整備	
31		まちあるきのきっかけをつくる			街歩きの目的となるイベントが開催されているか	○	二子玉川グリーンウォーク・ストリートマーケットを定期的に開催	
32		健康意識を高めるためプロモーションを実施する	WELL-Community	Community	人々の健康意識を高める活動が行われている	○	民間企業によるアクティブフェスタ(体力測定会)の実施	
33		まちのアクティビティを見える化する	WELL-Community	Movement	地区内の建物の内80％以上の建物が、アクティビティを行うスペース（公共スペース、公園）を眺めることができる	○	建物を取り巻くように空地・広場を整備	
34		立体・壁面サインの活用				○		
35		歩道・床面サインの活用				○		
36		歩行・活動をサポートするウェアラブル・デバイスの活用			地区に訪れる人におけるウェアデバイスの利用やウェアラブルデバイスと連携し歩行を促進させる仕掛けの有無	×	ウェアラブルデバイスを活用した試みは見られなかった	
37		身体活動を促す設備や機能を設ける	WELL-Community	Movement	以下を満たすフィットネス施設を整備する。 ・地区内の住居の75％の徒歩800m以内にある ・無料または低廉な価格で提供されている ・少なくとも3か月に1回サービスを提供している ・資格を有するスタッフが様々な年齢や能力に適した身体活動プログラムを提供している	○	街区内にフィットネスクラブを整備している	
38		子ども用プレイエリアの設置する	WELL-Community	Mind	次の要件を満たす子供用スペースが整備されている。 ・公共利用の緑地内にある ・スペースの看板には利用できる時間を明確に示し、それを遵守している	○	二子玉川公園には、子供用のスペースが整備されている	
39		土地利用の多様性を高める	WELL-Community	Movement	住宅の50％が400 m以内、75％が800m以内で基本的な都市施設にアクセスできる	○	複合開発を行っており、土地利用に多様性がみられる	56%
40		コミュニティ活動の活性化を図る	WELL-Community	Community	①地域住民による話し合いの機会が年1回以上は設けられている ②住民参加により予算を管理する機会が設けられている	○	・全体管理者である東急(株)による二子玉川ライズ協議会の設立・運営 ・各街区の住民代表者による街づくりの方針を策定	
41		アートなどをひきつける仕掛け	WELL-Community	Community	建設費の1％以上、建物開口の20％以上がパブリックアートに使われている	×	パブリックアートは建物開口ではなく、ストリート内に設置されているケースがほとんどである。 TokyoArtFlowや高屋敷電による継続的なアートイベントの開催	
42		季節の変化で人をひきつける仕掛け			地区内に季節の変化を感じさせる仕掛けを整備している	○	[冬]イルミネーションの実施・スケートリンクの設置	
43	コミュニティ	犯罪が起こりにくい環境である	WELL-Community	Community	地域の特性が次に挙げる要件のうち3つ以上に該当する ・空間周辺の視認性を高めるための空間設計および配置 ・地区内のコミュニティーメンバーの経路の定義 ・人々の所有感を増長させるような空間の定義 ・公共の場での社会活動の計画と配置 ・建物や公共スペースのメンテナンス計画 ・破壊行為と物的損害の予測システムの構築	×	動線を複数整備したことで、利用者が少ない動線がみられた	100%
44		適度な人口密度			都市や地区別で個別に設定される	△	地区に対して適当な人口密度が不明であるため、評価が不可能であった	
45	自然・文化	子育て関連施設や教育施設が充実	WELL-Community	Community	以下に挙げる教育施設が、地域の人口統計上のニーズに基づいて、地区の境界から徒歩800 mまたは公共交通機関から20分以内にある。 【幼稚園・中学校・学校外のアカデミック施設・高等学校】	○	大学、高校、学習塾、英会話塾、プログラミングスクールなどがある	100%
46		診療所や病院が充実	WELL-Community	Community	ヘルスケア施設が、地区の境界から徒歩800 m以内、または公共交通機関から20分以内にある。	○	地区内に総合病院、内科医院、歯科医院などがある	
47		老人ホームや地域包括ケアが充実			高齢者福祉施設が徒歩800 m以内、または公共交通機関から20分以内にある。	×	街区が駅周辺であるため、整備は行われていないが、老人ホームへの住み替え支援センターを設置し、福祉ネットワークとの連携を図っている	
48		まちのネットワークや資源を共有・発信する	WELL-Community	Community	エネルギーや環境資源の見える化を行う	○	水資源の見える化を実施	
49		自然へのアクセスを高める	WELL-Community	Mind	住宅の75％が0.5ha以上の公園緑地から300m以内にアクセスできる	○	世田谷区立二子玉川公園(100m)への容易なアクセスが可能である	
50		自然を都市環境に組み込む	WELL-Community	Mind	人口密度・街並みを考慮した緑の設置を行う	○	屋上緑化施設やルーフガーデンを設置している	
51		街路樹の設置			どこにどのくらい街路樹を設置するべきか謎(参考：世田谷区の接道部緑化率：40％)	○	街区内外に街路樹を整備して	
52		地域に歴史や文化が残っている	WELL-Community	Community	地域の文化や歴史を象徴する施設・建造物を指定した地区計画の策定	○	地区の歴史的遺産を活かした日本庭園を配置している	100%
53		外国語での案内がある			No34,35を外国人向けに併設する	○	案内板が二か国語(日本語,英語)で表記されている	
全体				49.1%				69.8%